

学校関係者評価委員会 資料

令和6年度学校(自己)評価表

**名古屋たちばな高等学校
通信制課程**

1. 名古屋たちばな高等学校通信制課程（単位制普通科 男女共学）の教育目標

通信制課程単位制に入学してくる生徒は多様な価値観を持っている。その生徒一人ひとりに対応できる教育内容の充実を図り、生徒が個々に持っている課題に応える体制を整え、学ぶ喜びと共に、何事に対しても自信と意欲を持たせる。併せて、生徒指導を通して地域社会から信頼される教育活動をめざす。

2. 通信制課程の構成

（1）通信制課程の構成

本校通信制課程は、学年制の生徒が在籍する技能連携校（専門学校高等課程）と本校独自の単位制で構成されている。

学年制には、普通・電気・機械科を設置している。技能連携を結ぶことによって専門学校における学修を本校の修得単位として認定している。

単位制には、普通科を設置し、3つのコース（午前コース・午後コース・日曜コース）に分かれている。

（2）技能連携校

名古屋工学院専門学校高等課程（普通科・電気科）

東海工業専門学校熱田校高等課程（普通科・機械科）

あいち造形デザイン専門学校高等課程（普通科）

（3）在籍数（令和6年5月1日現在）

	普通科		電気科		機械科		小計		合計
	男子	女子	男子	女子	男子	女子	男子	女子	
名古屋工学院専門学校	374	68	530	8			904	76	948
東海工業専門学校熱田校	99	14			311	3	410	17	427
あいち造形デザイン専門学校	61	252					61	252	313
単位制	249	134					240	134	383
合 計	783	468	530	8	311	3	1624	479	2103

※ 1 学年 733 名 2 学年 694 名 3 学年 676 名 合計 2103 名

（但し、単位制は1年次、2年次、3年次を学年として集計）

令和5年度（令和5年5月1日現在）

名古屋工学院専門学校 986

東海工業専門学校熱田校 445

あいち造形デザイン専門学校 274

単位制 315

合計 2020

3. 重点目標の具体的な取り組みと評価及び課題等

(1) 教務（学習指導）

重点目標	主な結果
① 単位修得率の向上	○修得単位数/履修単位数=81.2% (R5年度 80.4%)
② 資格取得の向上	○取得資格等 ・フォークリフト（最大荷重1t以上） 1名 ・玉掛け 1名 ・漢字検定（2級1名、準2級1名、3級6名） 8名
③ 教員の資質向上	○学園設置校間公開授業 実施せず ○自校内参観授業 実施せず
④ 視聴覚教材の導入	○視聴覚教材を製作 ○教員用タブレットの導入・活用
⑤ 教務規定の改訂	○名称変更（コース名、試験名称） ○観点別評価の基準の変更

【自己評価及び課題等】

○授業内容、レポート内容とも基礎的な項目に重点を置いて作成した結果、単位取得率は安定している。しかし、なかなか登校できない生徒も増え、時間不足により単位修得に至らなかった生徒も一定数でおり、今後はそういう生徒への対応にも今まで以上に生徒に寄り添いながら取り組みたい。

○校外での資格取得であるため参加者は少ない。校内での資格取得特別講座では、徐々に成果が見られるようになってきた。資格の種類を検討し、生徒の学習意欲の向上に努めたい。

○学校は対面授業が中心であるので少しでも生徒が理解しやすい授業にすることが必要である。そのため、来年度からは研究授業を再開し、より良い授業になるように努力していきたいと考えている。

○授業内容をわかりやすくするためには視聴覚教材やパワーポイントを使用することが必要である。また、今後ICT教育を推進するために、ネット環境の整備や教室にモニターテレビを設置した。電子黒板も2台導入した。また、先生方にもICT教育を勉強して頂き、授業の効率化を推し進める必要がある。

○技能連携校スクーリング年間指導計画に予定している視聴覚教材を製作した。

○教務内規を生徒にわかりやすいように変更をした。今後も文部科学省の規定を守りながら、生徒の勉強意欲を高めるような教務規定に変更していきたい。

(2) 生徒指導（生活指導）

重 点 目 標	主 な 結 果
① 基本的な生活習慣の確立	○生徒の状況・様子を把握するため、登下校時、放課等において生徒に「声掛け」「対話」を増やすようにした。 ○「産業社会と人間」、「総合的な探究」の時間や日頃の生徒との対話を通じて基本的な生活習慣、社会生活のマナーの指導をした。
②校内外の事故発生の防止	○校内外における事故はなかった。
③問題行動の防止	○校内外の巡視を行った。3件（喫煙） （令和5年問題行動15件）
④健康診断の受診	○健康診断受診案内を配付して受診を促した。受診結果により必要に応じて治療通院を促した。
⑤スクールカウンセラーとの協力体制の強化	○希望する生徒、保護者に予約制でカウンセリングを行った。
⑥生徒作品の掲示場所の提供	○生徒が撮影した写真を校内に掲示し、発表の機会を増やす。

【自己評価及び課題等】

- 出校できる生徒にはできるだけ対話を増やし、生徒と教員間の相互理解を行った。また、出校が少ない生徒には電話やメール発信により、より良い関係をつくるように努力した。しかし、入学時には不登校生徒が多いので、電話が通じない生徒もいるため苦労している。
- 「産業社会と人間」、「総合的な探究」の時間に時事問題を踏まえた生活指導、学習指導、進路指導を行い、基本的な生活習慣、社会生活におけるマナーの大切さ、コミュニケーション能力の必要性を理解させることができた。レポート内容を生徒の実態に合った変更していきたい。
- 健康診断の未受診生徒には各自で受診するように指導を徹底する。
- 校内外の巡視を行ない、事故発生を未然に防ぐことができた。また、問題行動の予防と指導も継続し、特に校外の巡回指導を重視して行きたい。
- スクールカウンセラーとの協力体制は円滑に行うことができた。相談件数は少なかったが、来年度も継続していきたい。
- 生徒の作品を校内に掲示し、生徒へ発表する場を設けている。意欲的な作品が掲示され、好評で今後も継続していきたい。

(3) 進路指導

重点目標	主な結果
① 適切な進路選択	○5/11(土)進学説明会を実施。参加者 92 名 (R5 年 88 名) ○6/22(土)就職説明会を実施。参加者 29 名 (R5 年 43 名) ○7/27(木)公共職業安定所（ハローワーク）主催のジョブ・キャンパスを実施。 参加者 22 名 (R5 年 16 名) ○公共職業安定所主催の模擬面接 20 名 (R5 11 名) ○公共職業安定所主催の就職準備セミナー 参加者 17 名 (R5 年 18 名) ○就職（学校紹介）は全員内定 17 名 (R5 年 20 名)
②進路決定	○合格者 大学 47 名 (R5 年 21 名) (内 愛知産業大学 0 名 (R5 年 7 名)) 短大 1 名 (R5 年 1 名) 専門学校等 35 名 (R5 年 31 名) (内 ELIC 7 名 (R5 年 8 名)) ○進学率 59.1% (R5 年 53.1%) (R6 年) 進学者/卒業者=88 名/149 名=59.1% (R5 年) 進学者/卒業者=76 名/143 名=53.1%

【自己評価及び課題等】

- 日頃の生徒や保護者との対話を通じて良好な関係を築き、就職説明会、進学説明会等において情報を提供し、希望の実現へ導く方策を常に考えていく。
- 名古屋中公共職業安定所との提携行事に参加して100%の内定を得ることができた。しかし、就職してから数ヶ月でやめてしまう生徒もいるようで、就職に対する生徒への事前指導も強化する必要がある。
- 進路内容を向上させるため、教員の学習指導、面接指導の経験を増やし、多様な生徒に対応するための指導力の向上に努める。
- 姉妹校への進学については学園発展のため、今後も機会あるごとに学園の魅力を生徒、保護者に伝えて姉妹校進学者を増やすように努力をする。また、キャリアデザイン講座や総合的な探究の時間に姉妹校への体験学習を継続的に取り入れ、内部進学者増加を図る。
- 進学講座の内容を充実させ進学者の学力を高める。

(4) 校務

重 点 目 標	主 な 結 果
①施設設備の管理	○校内における生徒の事故はなかった。 ○保健室設置により養護教諭が常駐し、生徒が登校しやすくなった。相談に訪れる生徒も増加した。 ○事務局とも連携をして、教員が校舎担当区域の美化活動を行ない施設設備の管理ができた。
②危機管理	○情報の共有化をした。

【自己評価及び課題等】

- 校内設備による問題発生防止のため、常時点検の実施と早期修繕に努めた。
- 緊急情報や防災等の知識や設備の情報を共有化し、日常的に危機管理意識を持つことができた。
- 自習室の机を他の生徒から見られないような仕切りのある机に替えたことにより、学習に集中することができた。

(5) 総務・渉外

重 点 目 標	主 な 結 果
①入学相談	○随時開催の入学相談と年間12回学校説明会を実施した。 入学相談 407組 (R5 364組) 学校説明会 184組 (R5年13回 152組) 入学相談者の入学率 67.2% (R5年 57.1%)
②広報活動	○学校案内、募集要項を中学校に配付した。 (全日制渉外担当教員に依頼) ○合同相談会に参加し、学校案内を配付した。 ○合同相談会による入学者数 8 名 (面談数 103 組) (R5 年 入学者数 14 名 (面談数 91 組)) ○単位制HPの「お知らせ」に学校の情報(入学式、卒業式、進学説明会、試験時間割、成績発表等)を掲載した。 ○「みんなの高校情報」への学校情報の掲載をした。 ○本校と同種他校との学費を調べ、本校の学費が経済的であることを改めて確認した。

【自己評価及び課題等】

- 学校説明会を毎月1回程度実施しているが、生徒、保護者のみではなく、教員対象の機会を設ける。
来年度は12回開催予定である。(土曜日午前開催)

- 入学相談では生徒の状況を踏まえ、その生徒に応じた説明を行い、授業を行っている時は必ず授業見学をお願いしている。通信制高校の増加に伴い選択肢も増えている。今まで以上に選ばれる学校になるための取り組みをしていきたい。
- 中学校訪問は諸事情により実施できなかったが、直接中学校から入学する生徒が増加傾向にある。より一層、本校の実践を理解していただくためにも来年度は是非実施したい。
- 合同相談会では、他校と比較した本校通信制の特徴を学校案内を使用して説明した。今後もキャリアデザイン講座や体験学習、出口指導の紹介をしていきたい。
- 学校HPを活用して本校単位制の魅力を広く発信する。来年度はHPを改訂して内容を充実する。
- 中学生からの入学者が増加傾向にあるので、中学校への広報の方法を検討していきたい。
- 令和8年度よりWeb出願システムの導入を検討している。

今後の展望

愛知県内に通信制高校が多くなっている中で他の通信高校にはない本校の特色を前面に出す必要がある。その一つが授業をしっかりと行っていることである。現在の通信制は不登校の生徒が多く在籍しているが、授業を受けることを望んでいないわけではない、できれば授業を受けられるようになり卒業して、次のステップ（進学等）に進みたいと望んでいる。単に卒業させるだけの通信制高校ではなく、今後は学力を定着させ、進路指導に力を入れていくことが必要と考える。そのためには単に授業だけではなく、生徒のニーズにあった講座を新設して生徒の満足度を高め進路に生かしていきたい。

来年度講座予定

- ・総合的な探究の時間を利用した体験学習講座（専門学校で実施）
 - 「オリジナルキャラクターデザイン」「テクニカルイラストレーション」「英語スピーキング」
 - 「介護レクレーション」「建築」「プログラミング実習」「JICA SDGsを考える」等
- ・進学講座（国語、数学、英語）
- ・学び直し講座（国語、数学、英語）
- ・特別講座
 - 「小論文対策講座」「公務員対策講座」「美術デッサン講座」
 - 「漢字検定講座」「C言語プログラミング能力検定対策講座」「ワード」「エクセル」等

以上

令和 6年度 学校評価・教職員 アンケート集計（年度末報告）

部署	重 点 目 標		平均
教 務	①	各科目の単位修得率 7 5 %を達成する。(81.2%)	2.7
	②	生徒の基礎学力向上に努める。	2.2
	③	試験による不正行為を防止する。(0件)	2.9
	④	欠席過多による科目不認定者を減少させる。	2.2
	⑤	保護者会全員出席を目指す。	2.3
	⑥	“よく分かる授業”の実践に心掛ける。	2.5
	⑦	授業中のマナー指導の徹底 (携帯電話・スマートフォンの使用禁止、居眠り)	2.6
	⑧	授業の視聴覚教材を作成する。	2.3
	⑨	技能連携校スクーリング教材の作成と確認を行う。	2.5
	⑩	技能連携校におけるスクーリングを効果的に行う。	2.1
指 導	①	登下校時の事故ゼロを目指す。(0件)	2.8
	②	校内外の巡視を行い、問題行動防止を図る。(喫煙3件)	2.0
	③	自転車事故「ゼロ」を目指す。(0件)	2.7
	④	オートバイ・自家用車での登校禁止を徹底する。(0件)	2.7
	⑤	公共交通機関利用時のマナーとモラルの意識向上を図る。	2.4
	⑥	校内における飲食物の取り扱いに対する指導を徹底する。	2.3
	⑦	生徒自身に、登校日を正確に把握させ、確実に登校させる。	2.1
	⑧	健康診断通知配布と共に、治療が必要な生徒に対して治療勧告書を配布する。281/393=71.5% (R5 66.4%)	2.1
進 路	①	進学率 4 0 %以上を目指す。(60%)	2.9
	②	学校紹介就職希望生徒の内定率の向上。(内定5名)	2.6
	③	進路未決定者の減少を目指す。15.4% (R5 21.4%)	2.4
	④	担任が自クラス生徒の進路を把握する。	2.8
	⑤	愛産大等姉妹校への進学を推奨し、増加を目指す。	2.0
	⑥	生徒の能力・適性に合った進路を決める指導を行う。	2.5
	⑦	進路説明会への出席を促す。	2.5
生徒 相談	①	不登校生徒のカウンセリングを促す。	2.1
	②	欠席過多の生徒や不登校気味の生徒への家庭連絡を適切に行う。 (家庭との連絡を密にする)	2.4
	③	カウンセリングを促し、登校率を向上させる。	2.0
校 務	①	校内における生徒の事故をゼロにする。(0%)	2.6
	②	環境整備に気を配り、ゴミを減少させる。	2.1
	③	省エネを推進し、意識の高揚を図る。	2.0
	④	日直を中心とした校内整備を行う。	2.2
	⑤	各階担当者・教室管理者による教室整備と校内美化に努める。	2.4
総 務	①	ホームページの更新は適宜行う。	1.9
	②	ホームページからの資料請求・個別学校説明会・学校説明会の申し込みを増やす。 184件 (R5 143件)	2.3
	③	ホームページの「お知らせ」欄にて、学校の情報を、保護者・生徒に適切に提供する。	2.1
渉 外	①	年間目標入学者数を確保する。(目標：160名)(200名)	2.8
	②	入学相談者に対する入学率を向上させる。(目標：80%) 70%	2.0
	③	学校説明会を計画的・効果的に実施する。R6 12回 (R5 10回実施)	2.5
	④	学校説明会参加人数を前年より上回るようにする。184組(R5 146組)	2.7
	⑤	退学者数40人以下を達成する。38名 (R5 28名)	2.4
	⑥	業者による合同説明会に参加して入学者数増に努める。103組 (R5 91組)	2.5
	⑦	学校説明会・学校案内等を効果的に配布する。	2.3
事務局	①	業務の効率化を図り、残業ゼロを目指す。	2.2
	②	職員室の基幹データと共有し、データの一元管理を目指す。	2.0
	③	就学支援金事務作業を円滑に行う。	2.3
	④	入学相談等、入学に関わる事務を適切に行う。	2.5
	⑤	窓口対応を適切に行う。	2.5

評価	良い		3 点
	普通		2 点
	悪い		1 点